

# 大阪市残した方が ずっと良い!!!



「大阪市」のままと「特別区」を比べれば

「都構想」では大阪市が廃止され、4つの特別区にバラバラにされます。  
くらしはどうなるか見てみましょう。

## 市民サービス

推進する人たちは「住民サービスは変わりません」「向上します」と言っています。  
しかし、「都構想」では大阪市廃止・分割のコストが15年間で1300億円もかかります。

### 大阪市のまま

財源を市民のために使えます。  
廃止のコストはかかりません。  
「都構想」やめれば

- 18歳までの医療費窓口負担ゼロ
- 30人学級
- 市立大学の授業料全員半額

などが実現できます。

廃止コスト  
**1300億円**  
(15年分)

### 廃止され特別区になると

設置コストがかかり、財源も少なくなるため、特別区は独自サービスを廃止・後退せざるを得なくなります。

- 敬老パス
- 18歳までの子どもの医療費助成
- 塾代助成
- 小学校給食の無償化

## 市民利用施設

「都構想」での財政シュミレーションは削減が前提です。

### 大阪市のまま

- プール ➡ 24か所
- スポーツセンター ➡ 24か所
- 老人福祉センター ➡ 26か所
- 子育てプラザ ➡ 24か所



### 廃止され特別区になると

- プール ➡ 9か所
- スポーツセンター ➡ 18か所
- 老人福祉センター ➡ 18か所
- 子育てプラザ ➡ 18か所

(裏面もお読み下さい)

